

科目責任者 石橋 賢一(病態生理学教室)

### ■ 教育目的

医療薬学の基礎科目(病態生理学、病理学、薬理学、薬剤学、医薬品情報学など)の知識を統合して、臨床薬剤師として患者の治療アウトカムを改善するための医薬品の使い方を学ぶ。講義コンテンツはホームページにアップする：

<http://www.my-pharm.ac.jp/~pharmaco/lecture.html> (心臓血管疾患)

<http://www.my-pharm.ac.jp/~kishiba/sub5.html>(腎疾患)

### ■ 学習到達目標

1. 主な疾患の病態とリスク因子を把握し、治療の全体像を概説できる。
2. 主要疾患の病態に応じた薬物治療の第1選択薬とその根拠を説明できる。
3. 主要医薬品の標準的な用法・用量とその調節方法を説明できる。
4. 薬物治療の効果と副作用を評価する方法を説明できる。

### ■ 準備学習(予習・復習)

予習・復習：必要に応じ講義時間内にアナウンスする。

### ■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	高血圧1	高血圧、閉塞性動脈硬化症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(2)-1,2,5 C15(1)-5 C15(3)
2	高血圧2	高血圧の標準的薬物治療と治療のゴール、治療個別化のポイント、モニタリング計画について説明できる。	C14(2)-1,2,5 C15(1)-5 C15(3)
3	虚血性心疾患1	虚血性心疾患(安定狭心症、急性冠症候群、心原性ショック)の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(2)-1,2,5 C15(1)-5 C15(3)
4	虚血性心疾患2	急性冠症候群の標準的薬物治療と治療のゴール、治療個別化のポイント、モニタリング計画について説明できる。	C14(2)-1,2,5 C15(1)-5 C15(3)
5	心不全1	心不全の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(2)-1,2,5 C15(1)-5 C15(3)
6	心不全2	心不全の標準的薬物治療と治療のゴール、治療個別化のポイント、モニタリング計画について説明できる。	C14(2)-1,2,5 C15(1)-5 C15(3)
7	不整脈1	不整脈の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(2)-1,2,5 C15(1)-5 C15(3)
8	不整脈2	心房細動の標準的薬物治療と治療のゴール、治療個別化のポイント、モニタリング計画について説明できる。	C14(2)-1,2,5 C15(1)-5 C15(3)
9	腎疾患1	急性および慢性腎機能障害、ネフローゼ症候群の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(3) -1
10	腎疾患2	糸球体腎炎、糖尿病性腎症、尿路感染症、薬剤性腎症、尿路結石の病態と治療が理解できる。	C14(3) -1
11	泌尿生殖器疾患	ED (erectile dysfunction)、OAB (over active bladder)、LOH (late onset hypogonadism)、前立腺肥大症 (BPH)、前立腺癌の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(3) -2
12	感染症1	感染症治療の原則と合併病態および抗菌薬選択の原則について理解する。敗血症と髄膜炎を理解する。	C14(5)
13	感染症2	肺炎(市中、院内)を理解し、治療法を選択できる。結核症について理解し、薬物治療を理解する。	C14(5)

No.	項目	授業内容	SBO コード
14	感染症3	消化管感染症と尿路感染症の病態と原因菌、薬物治療について説明できる。	C14 (5)
15	感染症4	性感染症、HIV 感染症について理解し、薬物治療を提案できる	C14 (5)

### ■ 授業分担者

No.1～8：小川 竜一、No.9～11：石橋 賢一、No.12～15：花田 和彦

### ■ 成績評価方法

出席 10 %、中間・期末試験 90 %で評価する。

### ■ 教科書

腎疾患：『Navigate シリーズ：腎疾患』（医学書院）

### ■ 参考書

心臓血管疾患：『Pharmacotherapy: A Pathophysiological Basis of Therapeutics, 8th ed.』Cpt 17～31 (McGraw-Hill, 2011)、  
『Drugs for the Heart, 8th ed.』(Elsevier, 2012)